

大船渡市教育振興基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え方について

1 パブリックコメント（2件）

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
1	計画全体	人口減少と少子高齢化は、大船渡に限ったことではないので、地域力を高める教育を取り入れるべきである。地理的にも第一産業のまちなので、海・山・農を活用して一次産業を推進し、支えていく必要性を説く教育を望む。 食育は生活の基であり、食物をつくることは、自然の管理、防災、福祉に繋がる。文学的思考を転換する教育を望む。	市では、多様な主体が連携して身近な課題を解決し、地域の価値を高める「地域力」の向上に向けた取組を進めています。 また、小中学校において、地域や市内企業と連携を図りながら発達段階に応じた組織的、系統的なキャリア教育を推進しており、広い視野をもった児童生徒の育成に努めるとともに、地域の特色を生かした学校運営を進めております。 食育は、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、健全な食生活を送ることができる人間を育てるものであることから、引き続き、その推進に取り組んでまいります。	教育総務課
2	P10～ 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実	今後ますます教育の格差は広がると思う。中学生に教えていて痛感するのは授業時間の不足で、しっかり理解する前に次に進んでしまうため消化不良のまま学習せざるえない状況である。ボランティア団体と公立中学校が協力して、大船渡市の教育が少しでも良い方向に進む活動をしていけば良いと思う。	新学習指導要領を踏まえ、新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業改善を推進し、生徒一人一人の個性や理解に応じた指導をするために教員の指導力の向上を図ってまいります。 また、地域と連携し、「学校を核にした地域づくり」の実現に向け、学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民の声を積極的に生かしながら、学校が地域と一体となって特色ある学校づくりを目指すコミュニティ・スクールについて、令和4年度の導入を目指して取り組んでまいります。	学校教育課

2 市政モニターからの意見募集（49件）

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
1	P1～ 第1章 計画策定の趣旨等 1 計画策定の趣旨	散歩時に子どもたちに「おはよう」や「こんにちは」の挨拶をしているが、こどもたちからの挨拶が少なくなったように感じる。また、大人は全く散歩途中挨拶をしてくれず、寂しく感じているので、大船渡市全体で挨拶運動を企画してはどうか。	【生涯学習課】 地域学校協働活動を通じて、人と人とのつながりや地域コミュニティの醸成を図りながら、学校を核とした地域づくりを進めることとしております。 【学校教育課】 子どもに関係する事件等の全国的な増加などに対応し、子どもの安全確保に努めておりますが、挨拶は、社会生活を送る上で最も基本となる生活習慣であり、子ども達の健やかな成長のため、地域、家庭で挨拶を行っていけるよう働きかけてまいります。	生涯学習課 学校教育課
2	P3 第1章 計画策定の趣旨等 4 計画の進行管理	計画の進行管理で、結果を市議会・市ホームページに公表することは大賛成である。	毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書にまとめ、市議会への報告や市ホームページで公表を行っており、継続して実施してまいります。	教育総務課
3	P3 第1章 計画策定の趣旨等 4 計画の進行管理	大船渡市教育振興基本計画案は大変良くできていますと思いますが、実施する際には、実行・検討を繰り返し、不都合があればタイムリーに計画を変更することも大切だと思ふ。	毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、より効果的かつ効率的な事業実施に向けた見直しを行うなど、PDCAサイクルにより継続的な改善を図ります。 また、計画期間においても、国等の動向や社会情勢の変化などを踏まえ、必要があれば計画の見直しを検討します。	教育総務課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
4	P4 第2章 当市の教育を取り巻く社会状況の変化 1) 人口減少と少子高齢化の進行	この5年間で児童生徒数が約300人の減少には驚いている。実業高校もありますが、進学校に進んだ生徒も地元就職、若しくは、将来に帰って来れるような、来たくするような環境づくりも必要と思う。	当市の最上位計画であり、まちづくりの指針となる大船渡市総合計画において、企業誘致や起業・第二創業支援などによる雇用の創出・拡大に加え、移住・交流の促進により当市への新しい「ひと」の流れを生み出すとともに、安心して家庭を築き、子どもを産み育てられる環境づくりなどに積極的に取り組むこととしております。	教育総務課
5	P4 第2章 当市の教育を取り巻く社会状況の変化 1) 人口減少と少子高齢化の進行	市の人口や小中学校の生徒数の減少、公民館活動の低下など、非常に厳しい状況（悪い印象と現実）に感じた。打開策として、大船渡市へ帰りたい、移住したい、結婚したい、暮らしてみたいなど、環境づくり等があり、先進地視察が必要ではないか。令和22年には明るい数字30,000人を目標に掲げ「全員で頑張りますので、市民の皆様よろしくお願いたします」との一言があっても良いのではないか。	当市の最上位計画であり、まちづくりの指針となる大船渡市総合計画において、企業誘致や起業・第二創業支援などによる雇用の創出・拡大に加え、移住・交流の促進により当市への新しい「ひと」の流れを生み出すとともに、安心して家庭を築き、子どもを産み育てられる環境づくりなどに積極的に取り組むこととしております。 また、令和2年度に策定した「大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口減少に歯止めをかける各施策を推進し、令和12年に人口31,672人の達成を目指すこととしております。	教育総務課
6	P4 第2章 当市の教育を取り巻く社会状況の変化 1) 人口減少と少子高齢化の進行	人口を増やすための取り組みを具体的に上げて欲しい。就業場所の確保や若い世代が住み着くような環境づくり、子育て世代の制度の確立など。	当市の最上位計画であり、まちづくりの指針となる大船渡市総合計画において、働く場を確保し、結婚・子育てしやすい環境を整え、良好な生活基盤やアメニティ機能を確保した住み心地の良いまちづくりを推進するとともに、移住や二地域居住など交流を促進する施策を展開し、賑わいと活気のあるまちづくりを推進することとしております。	教育総務課
7	P4 第2章 当市の教育を取り巻く社会状況の変化 1) 人口減少と少子高齢化の進行	地域コミュニティの活力低下について、80歳までの高齢者を積極的（役割を与えると良い結果がでる）に活用すべきだと思う。	人口減少が進むにつれ、市民が主体となって地域課題を解決する体制や取組の重要性が増しており、市では、多くの住民の方が地区の運営や活動に参画することにより、地域力の向上を図る取組を進めています。高齢者の方も積極的に社会に参画し、生きがいを持って生き生きと暮らせるよう、生涯学習や地区における活動を促進してまいります。	教育総務課 生涯学習課 市民協働課
8	P8 第3章 計画の基本方針 1 計画の基本方針	計画の方針として「豊かな心を育む人づくりの推進」については賛成である。学校での新型コロナウイルス感染確認があったが、心の優しさや強さを兼ね備えた児童生徒であれば、この地域でのコロナ対策は乗り切れると思う。それは大人が示すべきであり、そういう教育方針であれば、いじめも中傷も起きないと考える。	次世代を担う子どもたちの健やかな成長のためには、学校の教育活動全体を通じた指導とともに、家庭と地域、学校等が手を取り合い、社会全体で豊かな人間性を育むことが重要であり、模範となる大人が、思いやりを持ってともに心豊かにこの地で暮らし続けられるよう、計画方針の実現に向けた教育施策を推進してまいります。	教育総務課 学校教育課
9	P10～ 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 ～ 4 地域の歴史・文化資源の継承	施策ごとに、現状、課題、目指す姿、目的・目標、基本事業となっているが、基本事業は「図ります。努めます。推進しています。」と表現しているのに対し、目指す姿は、「行われています。されています。」となっているので、すでに実施しているのかと勘違いする。目指す姿のところは、「〇〇されている姿」と表現したら良いと思う。	大船渡市教育振興基本計画の策定に当たっては、岩手県教育振興基本計画を参照していることから、県の計画と整合性を図るため、目指す姿については、当初のとおりとします。	教育総務課
10	P10～ 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実	市内の小・中・高校生を海外へ体験交流させるため、補助支援をし、豊かな生徒を育てて欲しい。	国際社会で活躍できる児童生徒の育成に向け、英検受験料全額助成（年1回）やALT（外国語指導助手）の配置等を通じて、国際理解教育や英語教育の充実を図っております。 令和3年度以降は、1人1台タブレット端末を活用して、海外の方と直接コミュニケーションをとる学習も可能になりますが、今後とも児童生徒の資質と能力の向上に努めてまいります。	学校教育課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
11	P10～ 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実	幼・小・中・高校の一貫校を模範的に検討し、優秀な夢のある生徒を育てることが大事だと考えます。	幼稚園から高等学校までの一貫校を設置することは難しいですが、学校間で連携しながら、自らの将来を切り拓くためのキャリア教育や外国語教育、国際理解教育、情報通信技術を活用した教育などの充実を図り、児童生徒の資質、能力の向上に努めてまいります。	学校教育課
12	P11 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 1) 現状	学校統合によるスクールバス運行は、運動不足や健康増進のため、学校手前で乗降させ、学校までの区間を歩行させたらどうか。実施計画の際は、事前に調査し、問題点、危険箇所等を検討し、充分に安全確保の上で計画して欲しい。	スクールバスについては、児童生徒の安全面の確保や公道での他の乗用車の走行への支障、私有地の借用等の課題があることから、学校敷地外での乗降は行っておりません。運動不足の解消や健康増進については、部活動の充実を図るとともに、必要に応じ家庭・地域と連携しながら、生活習慣の指導を行ってまいります。	学校教育課
13	P11 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 1) 現状	給食センターの効率的な運営が、学校と家庭が連携した食育を推進するにも受け取れる。そうでなければ、食育の推進については、別の行書きにした方が良いでしょう。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。 「北部学校給食センターや各学校給食共同調理場では、安全・安心な給食の提供と、学校と家庭が連携した食育の推進に努めるとともに、施設の民間委託などにより効率的な運営を図っています。」	北部給食センター
14	P11 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 3) 目指す姿	目指す姿が示されているが、ここ数年、高校を卒業して会社に入社してくる若者は、他人を思いやる豊かな心とは大分かけ離れている。挨拶ができなかったり、その他諸々ある。是非、「礼節を踏まえた社会の一員として」と文言を追加して欲しいし、実際の教育現場でも一人一人に実践して欲しい。	社会の一員としてのあり方については、14ページ「(2)豊かな心の育成」に、「社会の構成員として自覚と責任をもって主体的に行動し、社会的な規範意識を持ち、他人を思いやることができるようにする」ことを記載しており、実践に向け、学校と連携し取り組んでまいります。	学校教育課
15	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)イ	情報通信技術（ICT）の導入を早急に取り組んで欲しい。	令和3年度前半からの一人1台タブレット端末の導入に向けて、現在、整備を進めています。	学校教育課
16	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)イ	ICTを活用した学びの取組が加速しているとのことだが、多忙化している学校現場では、技術の修得に多少負担を感じている先生もいるのではないかと。そうした先生や子ども達のためにも、授業の際に習熟した指導者がサポートする支援等があっても良いのではないかと。	全国的な需要を受け、ICTの指導を行う専門員は確保が難しい状況にあります。このため、指導に対する教員の不安解消や効果的な授業実践を図るため、教員を対象とする研修の充実を図るほか、ICTを効果的に活用した授業・指導法の研究を推進するなど、ICTを活用した学習活動が円滑に行われるように努めてまいります。	学校教育課
17	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)イ	一人一台タブレット端末の整備など早急にを進めて欲しい反面、便利になりすぎるあまり、友達や地域の方々とのコミュニケーションや人間関係の構築が希薄になることが懸念される。IT化を推進することは、時代の流れなので、必要不可欠だが、子ども達に心を育む教育も今まで以上に必要になってくると考える。	令和3年度前半からの一人1台タブレット端末の導入に向けて、現在、整備を進めています。併せて、情報モラル教育を充実し、一人ひとりが自覚と責任をもった行動ができるよう指導するとともに、円滑な人間関係が構築できるよう、豊かな心の育成に一層努めてまいります。	学校教育課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
18	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)ウ	「外国語教育の推進」について、外国語＝英語だと思いが、「国際社会で活躍できる児童生徒の育成」を考えているならば、現在の授業時間だけではなく、市が主体となり各学校の授業時間以外の時間を英語の反復練習時間に充てるなどの力の入れ方が必要だ。言語はあくまでも手段であって目的ではなく、「国際社会で活躍できる」教育ならば、外国語より社会科だと思う。	外国語指導助手を交えた外国語教育では、英語力の向上はもとより、多文化共生の意識やグローバルな視野の育成の視点での教育も行っております。 また、社会科を始めとする他教科においても、様々な視点から子どもたちの資質の向上を図りつつ、「国際社会で活躍できる」教育につなげてまいります。	学校教育課
19	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)エ	子ども達へのきめ細かな指導、対応のためにも、特別支援教室支援員、支援員の十分な確保と配置を求めたい。	特別な教育的支援を必要とする児童生徒を始め、児童生徒が生き生きと学校生活を送ることができるよう、児童生徒の状況を十分に把握しながら、学校との情報共有に努めており、今後とも必要に応じて人員を増やすなど充実に努めてまいります。	学校教育課
20	P12 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (1)エ	児童発達支援センターの早期設立を求めたい。そこで、放課後、特別な支援を必要とする子ども達がケアが受けることができたら良いのではないかと。	児童発達支援センターの設立予定はありませんが、放課後における特別な支援を必要とする児童のケアについては、家庭、学校、学童、障害児通所支援事業「放課後等デイサービス」等と連携しながら、支援に努めてまいります。	学校教育課
21	P14 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)ウ	登校はできても、別室や保健室等で過ごす時間が長い子どもに、専属の支援員を配置してはどうか。教室に入れないというだけで子どもは強い不安感を抱いており、毎日寄り添い、一緒に行動してくれる人がいることが、子どもに安心感を与え、回復にも繋がってくると思う。	様々な不安や悩みを抱えている児童生徒に対し、学校では校内支援体制を構築しており、支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図りながら、家庭や関係機関と連携を図っており、今後とも、児童生徒一人一人への細やかな支援に努めてまいります。	学校教育課
22	P14 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)ウ	心の教室相談員は、小学校にも配置されれば良いのではないかと。子ども達の人間関係の複雑化、低年齢化の傾向にあるように思われる。心のケアが必要な児童の早期発見、早期対応のためにも、必要と思われる学校に配置されることを願う。	心のケアが必要な児童の早期発見、早期対応のために、学校では担任の教員はもとより、校内での生徒指導体制・支援体制を構築し、適切な対応を図っております。 また、巡回型カウンセラー・配置型カウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携も行っており、引き続き、きめ細やかな支援に努めてまいります。	学校教育課
23	P14 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)ウ	不登校の割合は全国平均を下回っているが、増えてきているように思える。相談員、カウンセラーなどと、心のケア、居場所など確保されているようだが、子どもたちは、相談ができていいのか。心の教室には行きづらいのではないかと。心の教室を親しみやすい名前にするとか、図書室などに間借りするなど、相談員がフリーに動いて、子ども達と触れ合う機会をつくるなど、相談しやすい工夫もあって良いと思う。	各学校では児童生徒が気軽に相談できるよう、保健室や相談室等での相談対応等を行っております。 また、各学校をスクールカウンセラーが巡回し、悩みを抱えている児童生徒はもとより必要に応じて全員面談等も行ってまいります。	学校教育課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
24	P14 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)エ	震災を経験しない小中学生も増えてきており、定期的な訓練のほか、学校外の施設見学の実施も計画に組み入れても良いのではないかと。気仙地区には津波伝承館等、様々な施設が完成しており、是非、地元の小中学生も施設見学をしてほしい。直接展示物を見たり、ビデオ鑑賞やガイドからの説明を受けるなど、小中学生が肌で感じる事が最も大切なことで、防災に必ず繋がると思う。	各学校では、教育計画や児童生徒の発達段階を踏まえながら、学校外の施設見学を実施しており、今後も各学校において、防災知識の習得、避難訓練や施設見学などを実施し、大震災の教訓の継承とともに、児童生徒の防災意識を高めてまいります。	学校教育課
25	P14 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)オ	キャリア教育は、小学生の時から自分の将来を見据えた教育が大事だと思う。社員の子どもの対象とした子ども参観日を実施し、子どもの職業観を育んだり、子育てに対する理解を深めたりしている地元企業もある。地元企業と学校がうまく連携を図り、キャリア教育を進めることで、将来で地元で働きたい子どもたちが増えてくれるのなら、地域の活性化にもつながっていくと思う。	地域や市内企業と連携を図りながら、小中学校において発達段階に応じた組織的、系統的なキャリア教育を推進しております。 また、小学校では、家族や地域等の身近な方々から職業観や勤労観を学んだり、職業について調べる活動などを行っており、中学校では、教育活動への講師派遣や職場体験プログラム、市が実施するキャリアチャレンジデイへ参加するなど、地元企業を始めとする様々な企業から職業観や勤労観を学んでおります。	学校教育課
26	P15 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (2)オ	職場体験（農業・漁業を特に含めて）を充実させ、将来どんな仕事をしたいかの選択幅が広がると思う。後の学習も変わってくるのでは。	様々な職種に触れる機会として、中学生を対象にキャリアチャレンジデイを実施しております。 また、学校の教育活動での講師派遣や職場体験プログラムなどを通して、キャリア教育の推進に努めております。	学校教育課
27	P16 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (3)イ	中学校の部活動について、民間のコーチ委託を明確に位置付けて良いと思う。教職員の働き方改革にも繋がるのでは。やる気を持って部活動に入学しても、指導者がおろそかな状態だと子ども達のモチベーションが下がるし、健全な精神力と体力向上の目的も果たせないと思う。	部活動指導員は、民間の方を部活動の指導者としてお願いすることにより、部活動の指導体制の充実とともに、教員の長時間労働の縮減と負担軽減を図ることを目的としております。なお、現在、令和2年度中の配置に向けて、学校との調整等を進めております。	学校教育課
28	P16 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (3)イ	中学校の先生方の部活動指導の軽減を図るため、部活動指導員の配置を早急に求めたい。先生が少しでもゆとりを持つことが、子どもとの信頼関係づくりにも繋がると思う。	部活動指導員の配置は、部活動の指導体制の充実とともに、教員の長時間労働の縮減と負担軽減を図ることを目的としており、令和2年度中の配置に向けて、学校との調整等を進めております。	学校教育課
29	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)ウ	小学生時代、一番大切なのは、友人、先生、大人との関わり合いで、特に家族との関わり合いは言うまでもなく、先生から受ける影響が大きい。勉強を教えることも大切だが、教師の人間としての育成にも力を入れて欲しい。一方で、生徒の心にゆとりを持って接するには、先生方の心と時間にもゆとりが必要不可欠だと思う。	学校生活を送る上で、教員が児童生徒に与える影響は大きいと認識しており、資質の向上を図るため、様々な機会を活用し、継続的に教職員の研修を行っております。 また、教員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保するため、教職員の多忙化解消及び業務の適正化を目的とする働き方改革を推進しており、引き続き、求められる教員像の実現に向けて取り組んでまいります。	学校教育課
30	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)ウ	「教職員の働き方改革」は、先生方の負担を減らすことはもちろん賛成だが、「出退勤管理」をして「早く帰ってください」というようなことをしても、負担が減るとは思えない。やはり、どのような形にせよ学校に従事する人を増やすことを考えるべきである。	教職員の出退勤管理の目的は、時間外勤務の状況を把握し、原因となる業務の効率化など、その改善に向けた取組につなげることにあります。 今後とも、部活動指導員の配置などによる業務量の削減のほか、業務の適正化など働き方改革に努め、教職員の多忙化解消を図ってまいります。	学校教育課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
31	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)オ	大船渡市立小学校・中学校の適正規模の統合に関しては、地域の意向を充分把握した上で、大船渡市主導で学校統合を推し進めるべく努力が必要である。	市では、児童生徒数が減少する中、教育環境の充実や教育の質の向上を図るため、学校統合の推進が必要だと考えており、こうした学校統合の目的について、保護者や地域住民と十分に共通理解を図りながら、今後とも学校統合に向けて努力してまいります。	学校統合推進室
32	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)オ	大船渡中学校と末崎中学校の統合が白紙に戻ってしまったことはとても残念なことだ。何より、在学生の意思が全く生かされていない結果になったことが不思議だ。地域を中心に統合をという市の意図はわからなくはないが、市職員が間を取り持って、話し合いをスムーズに有意義に進めていけるようなやり方を模索しても良かったのではないかと思う。今後の進め方に注目したい。	大船渡中学校と末崎中学校の統合については、何よりも生徒の教育環境の充実や教育の質の向上を図るため、必要なことと考えていることから、今後とも、学校統合を見据え、関係者との意見交換を行ってまいります。	学校統合推進室
33	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)オ	大船渡中学校と末崎中学校の統合については、誰が主体なのかを関係者はもう一度教育環境の向上を考えるとともに、市としても円満、円滑な対応をお願いしたい。	大船渡中学校と末崎中学校の統合については、何よりも生徒の教育環境の充実や教育の質の向上を図るため、必要なことと考えており、今後とも、学校統合を見据え、関係者との意見交換を行ってまいります。	学校統合推進室
34	P17 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (4)カ	就学援助費の申請は、年度途中で可能なのか。年度途中で、突然収入が激減するような事態が発生しても、申請が出来れば、家庭も子どもも不安が軽減されると思う。	就学援助費については、随時、申請受付を行っており、年度中途の認定者については、原則として、申請のあった月からの費用を対象としています。	学校教育課
35	P18 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (5)ア	保育園と老人施設が隣接し、交流している様子をテレビで見たことがあるが、幅広い世代を交えた教育の場をつくることは、若い人達が見失いがちな心のゆとりや優しさなどを補ったり、老人にとっても新しい生きがいや喜びを感じたりできるため、良いことだと思う。盛小学校のマラソン大会を商店街で実施しているが、本当に良いことだと思う。	地域に開かれた魅力ある学校づくりを目指し、地域や保護者の協力を得ながら、各学校の実態に即し、伝統と文化を大切にされた特色ある活動を実施してまいります。	学校教育課
36	P18 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (5)イ	学校の統合が進み、地域との交流が少なくなっている。運動会・遠足でも地域住民を交えたプログラムにしたり、地元を遠足地として選んではどうか。	学校統合により通学区域が拡大し、各地域と学校との連携がより一層必要となることから、令和4年度から導入を予定しているコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組みなどを通じて、地域の方々のご意見を伺いながら、地域とともにある魅力ある学校づくりを進めていきます。	学校教育課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
37	P 18 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実 5) (5)イ	地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進として、学校・家庭・地域が一体となり、公民館等を利用して各種事業を一体で進めることは、子ども達にボランティア活動をさせることは大きな体験になると思う。また、地域活動に高齢者も一緒に参加させて、「子どもを地域で育てる環境」を整えることも必要と思う。各地域の公民館長は色々な経験を持っている方が多くいるので、別角度から公民館長を利用した会議を企画していくことは良い方法だと思う。	学校と地域が一体となって、特色ある学校づくりを目指すコミュニティ・スクール（学校運営協議会）について、令和4年度からの導入に向けて準備を進めておりますが、今後とも地域に開かれた学校運営を目指し、様々な地域の方々の参画やご協力をお願いしたいと考えております。	学校教育課
38	P 19～27 第4章 施策の基本方向 2 生涯学習の推進 3 生涯スポーツの振興	これから高齢者が増えていくことが必然で、認知症や寝たきりを減らす意味でも力を入れていかなければならない事業だと思う。しかし、今までどおりの事業推進では、来る人が決まっている。出てこない人の多くは、「家から出たくない」という感覚の人が多いのではないか。ICTの活用も重点課題になっている。どこかに集めるのではなく、それぞれが家でできる学習や運動なども可能性として考えてみるべきではないか。	市ホームページや広報紙を通じて、各種講座の開催状況等を体系的に整理した生涯学習情報を積極的に発信し、市民の学習意欲の向上につなげてまいります。	生涯学習課
39	P 10～ 第4章 施策の基本方向 1 学校教育の充実	少子化に伴い、子どもがいない地域が多くなり、「子どもは宝」とはわかっていても、交流がないと関心が薄れる人が多く、「地域とも一体となり」は難しいと思う。	学校と地域が一体となって、特色ある学校づくりを目指すコミュニティ・スクール（学校運営協議会）について、令和4年度からの導入に向けて準備を進めておりますが、今後とも地域に開かれた学校運営を目指し、様々な地域の方々の参画やご協力をお願いしたいと考えております。	学校教育課
40	P 21 第4章 施策の基本方向 2 生涯学習の推進 5) (1)イ	移動図書館は、商業施設や企業なども巡回してはどうか。	移動図書館車は、これまで小中学校、高齢者福祉施設のほか、交通手段がなく図書館の利用が難しい方の利用を想定し運行してきましたが、ご提言の商業施設や企業への巡回については、図書館の利用者拡大につながる有効な手段と認識しており、今後、検討してまいります。	図書館
41	P 21 第4章 施策の基本方向 2 生涯学習の推進 5) (1)	主な事務事業に図書館運営事業と博物館管理事業とあるが、運営と管理でどう違うのかわからない。	【博物館】 博物館管理事業については、博物館施設・設備の維持管理に係る事業であることから、管理事業としております。 【図書館】 図書館運営事業については、図書館協議会の開催、職員研修、図書館情報の提供、施設設備等の維持管理等の運営に関する事業であることから、運営事業としております。	図書館 博物館
42	P 25 第4章 施策の基本方向 3 生涯スポーツの振興	目指す姿に「あらゆる世代の市民がスポーツを通じて心身ともに健康で豊かな生活を実現します。」とあるが、高齢者のスポーツ参加の支援内容の具体性が見えない。高齢者運転免許返納により会場までの移動手段、衛生設備、休憩のためのベンチや東屋の設置など、関係団体と連携し要望を支援して欲しい。高齢者のスポーツへの参加意欲を喚起するためにも、安心、安全が最優先である。国の支援制度を有効に活用とあるが、関係団体に周知して、スポーツ環境の整備を推進するよう希望する。	令和2年2月に策定した大船渡市スポーツ推進計画において、生涯スポーツの振興に当たっては、ウォーキングやラジオ体操等をきっかけに、体力に自信のない方々でも気軽にスポーツに取り組むことができるよう、市老人クラブ連合会や市社会福祉協議会と連携しながらスポーツ機会の拡大を図り、体力づくりや生きがいづくりのためのスポーツを通じて、健康寿命の延伸を目指すこととしております。 また、衛生設備やベンチの設置等の整備については、必要性や整備効果等を十分に考慮しながら、検討してまいります。	生涯学習課

No.	該当箇所	意見・提言等の概要	提出された御意見等に対する市の考え方	担当課等
43	P26 第4章 施策の基本方向 3 生涯スポーツの振興 5) (1)	運動場として場地的利用アクセスを考えると立根町の総合グラウンド予定地が最適であり、整備を迅速に取り組むことが望ましい。	市内スポーツ施設の整備については、大船渡市スポーツ施設整備基本計画に基づき計画的な整備を図ることとしております。	生涯学習課
44	P26 第4章 施策の基本方向 3 生涯スポーツの振興 5) (1)	学童野球の県大会が毎年大船渡市を主として行われているが、昨年の決勝戦は、はまなす公園でナイター試合となったが、照明が暗く感じた。競技に合わせた照明配置をして欲しい。また、はまなす運動公園のスタンドやグラウンドがフェンスに歪みなど、傷んだままの場所があるのでは早めに補修して欲しい。グラウンド内の壁がコンクリートむき出しで危険に感じた。	市内スポーツ施設の整備については、大船渡市スポーツ施設整備基本計画に基づき計画的な整備を図ることとしております。	生涯学習課
45	P26 第4章 施策の基本方向 3 生涯スポーツの振興 5) (1)	はまなす運動公園のスタンドやグラウンドがフェンスに歪みなど、傷んだままの場所があるのでは早めに補修して欲しい。グラウンド内の壁がコンクリートむき出しで危険に感じた。	市内スポーツ施設の整備については、大船渡市スポーツ施設整備基本計画に基づき計画的な整備を図ることとしております。	生涯学習課
46	P26 第4章 施策の基本方向 3 生涯スポーツの振興 5) (1)	学校開放で盛小学校のグラウンドを使用しているが、利用できるトイレが体育館脇にしかなく、グラウンドから人目につかず、夜はトイレに行くまで暗いので子ども達が利用しにくい。怖いのでトイレを我慢して粗相をした子どももいるようである。	学校施設の整備については、児童生徒の安全確保のほか、優先度等を考慮し、適切な管理に努めてまいります。	学校教育課
47	P26 第4章 施策の基本方向 2 生涯学習の推進 5) (2)イ	高齢者の健康維持を主体として、例えば、老人クラブ等への積極的加入を促進、連携して取り組むことはどうか。	各地区の老人クラブと連携しながら、60歳以上の市民を対象とした生きがいセミナーを開催しております。セミナーでは、健康増進に関する内容を盛り込んでおり、今後においてもセミナーに多くの方が参加いただけるよう取り組んでまいります。	生涯学習課 中央公民館
48	P29 第4章 施策の基本方向 4 地域の歴史・文化資源の継承 5) (1)ア	文化財保存活用地域計画の策定とあるが、2ページの関係図に載っていないので、きちんとした計画書のようなものでなければ、「保存活用方針を定め」などとした方がよい。	2ページの関係図は、現在策定している計画の関係図です。文化財保存活用地域計画は、平成31年4月に施行された改正文化財保護法に基づき、今後、複数年をかけて新たに策定し、計画書としてまとめる予定です。	教育総務課
49	P30 第4章 施策の基本方向 4 地域の歴史・文化資源の継承 5) (1)ウ	全国的にも、博物館は長く展示物が変化しないままのように感じるの、魅力的な工夫と館内でのイベントの頻度を上げることはどうか。	博物館では常設展示のほかに、特定のテーマを設けた企画展示を年に数回開催しています。引き続き、時宜に合ったテーマ設定に行い、魅力ある展示に努めてまいります。	博物館